

かわさきパラムーブメント 推進フォーラム

コミュニティデザイナー 山崎 亮

山崎 亮

studio-L 代表

東北芸術工科大学 教授
(コミュニティデザイン学科長)

慶應義塾大学 特別招聘教授

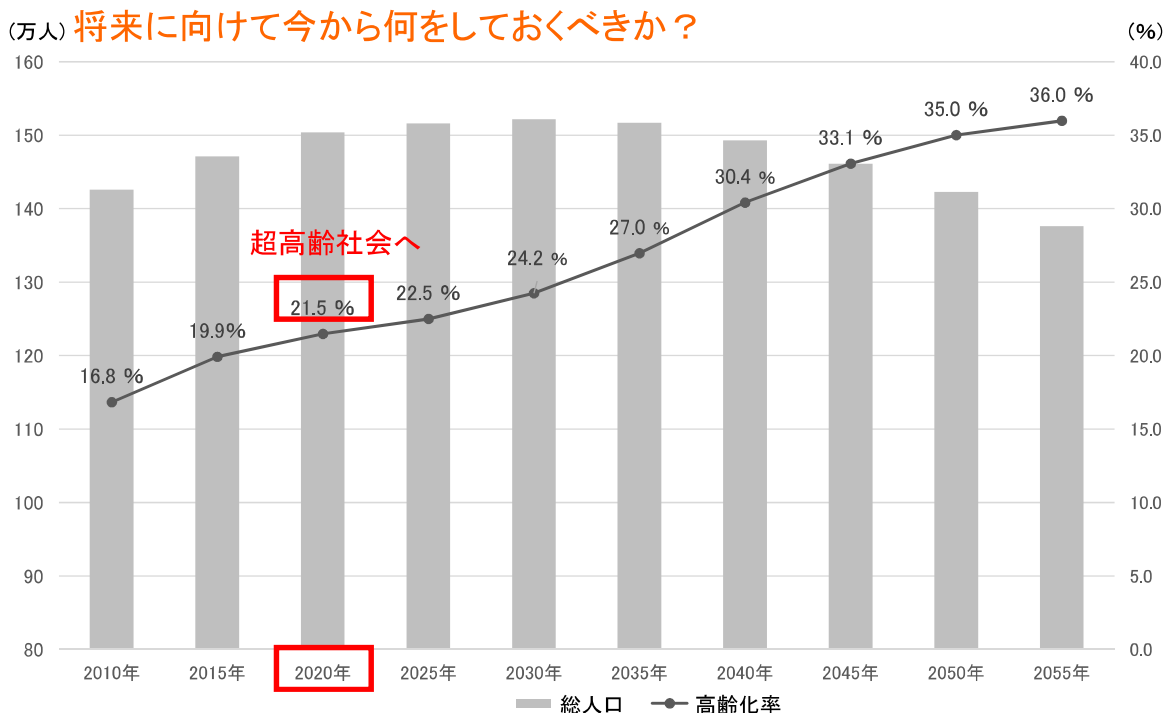
NPO法人マギーズ東京 理事

(公財)東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委
員会 委員

コミュニティデザインによる 市民参加プロジェクトのフィールド

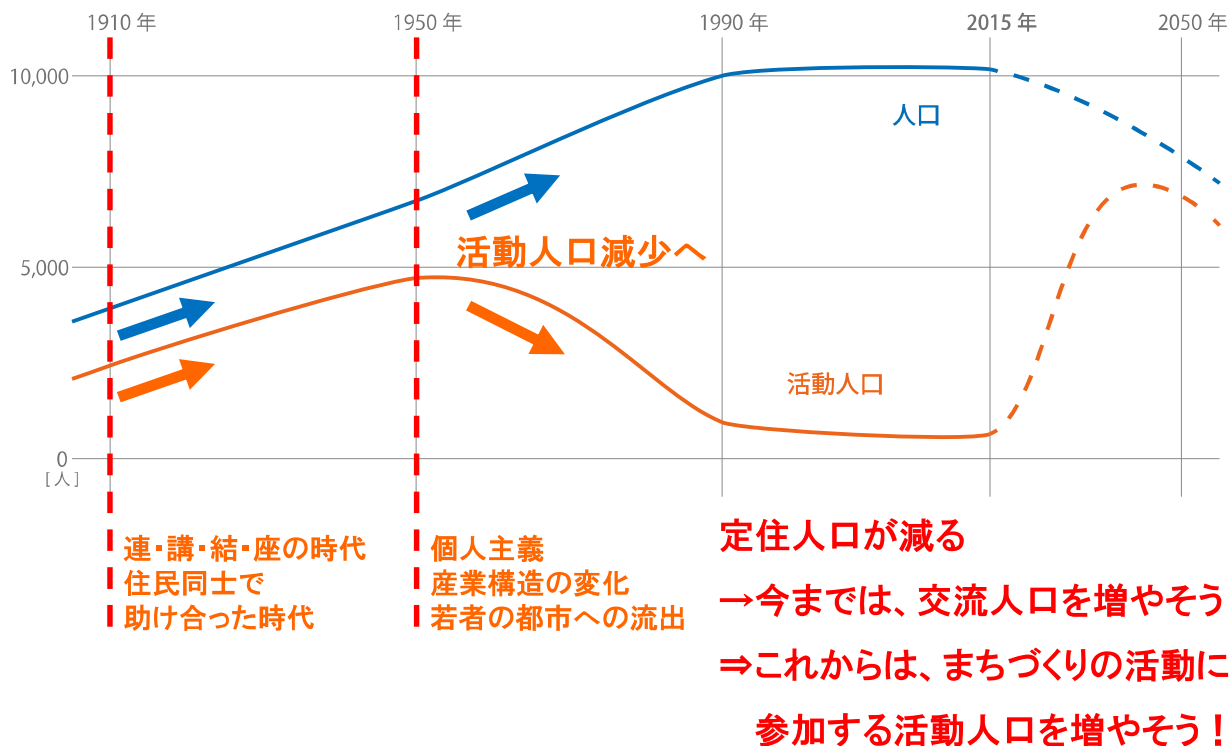


◆川崎市は2030年まで人口が増加、その後は急速に減少、
2020年のオリンピックから超高齢社会を迎える(予測)
→今の30~40代が高齢者になる頃、地域につながりは残っているか？

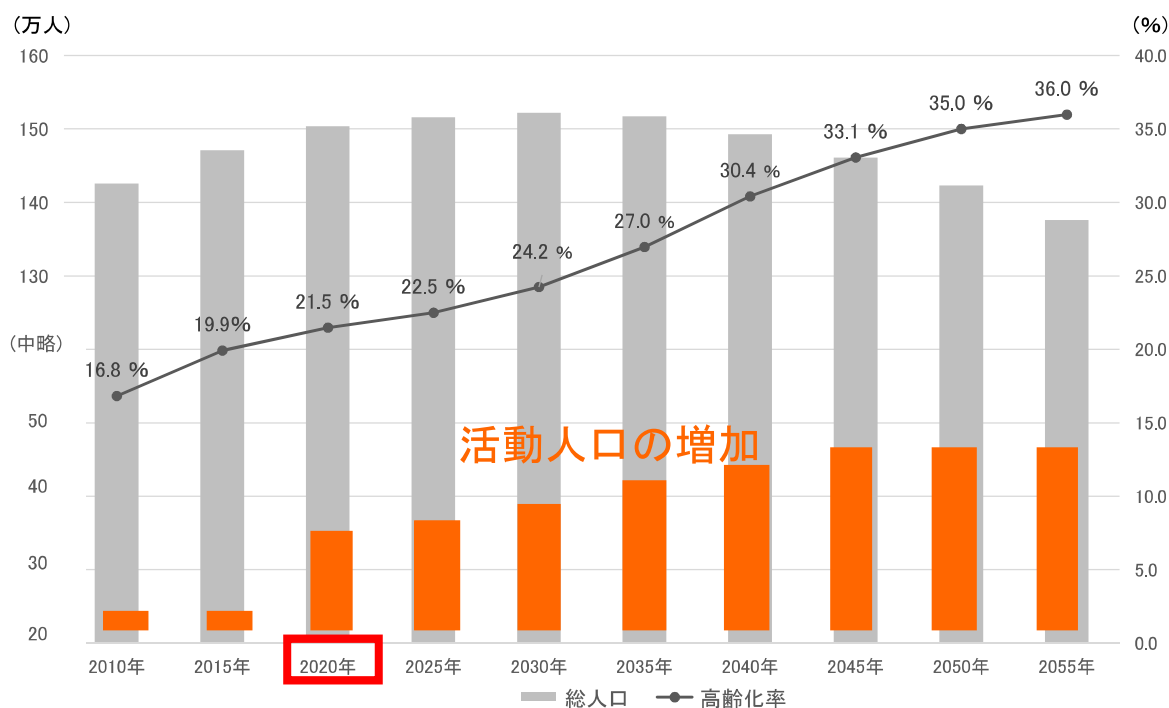


出典:川崎市「新たな総合計画の策定に向けた将来人口の推計について」

日本全体で考えた場合の定住人口と活動人口の関係



◆ 2020年のパラムーブメントをきっかけに活動人口を増やそう



出典：川崎市「新たな総合計画の策定に向けた将来人口の推計について」

◆提案:川崎市の活動人口を高める

①定住人口、交流人口から、活動人口という考え方へ。

→活動人口とは、地域の課題を自分ごとと捉え、

地ケア、防災、子育て等、まちづくりの活動に主体的に参加する人口のこと。

活動人口比率の高いまちこそ、健康的なまちであり、

魅力的なまちである。

②2020年のパラムーブメントを、大きなきっかけに。

→市民が参加し、その後のまちづくりに関わり続けるきっ

かけを生み出すべき。それにより地域のつながりもつくる。

それが、オリンピック後の川崎市のレガシーになる。

◆提案:川崎市にファシリテーターを増やす

・2020年に向けて市民参加事業を倍増させていく。

興味のあるテーマを見つけて活動する市民を増やす。

→パラムーブメントをきっかけに、市民と協働し、

まちづくりへの参加を促し、参加した市民同士をつなげる、

ファシリテーションのスキルを持つ行政職員を増やす。

そこで得た経験や市民とのつながりを基に、

様々な分野で市民参加事業に取り組むことができる。

◆美しさに集い、つながり、健康に

・美しいこと、楽しいこと、美味しいことに人は集う。共感する。つながる。主体的に関わる。連続的に関わる。

→楽しいことをしていたら、人とつながり、健康になれた、というのが理想的。

・孤独は喫煙より体に悪い。お見舞いに来てくれる人の数で寿命が変わる。町内会の役員は健康に良い。作り笑いでも寿命は2年延びる。予防医学が明らかに。

→「つながり」が健康寿命を延ばすことに寄与する。人とつながり、一緒に活動する機会が市内各所にあることが重要。

『友だちの数で寿命はきまる』

石川善樹さん

- ・副題：
人との「つながり」が最高の健康法
- ・「つながり」が少ないと死亡率が2倍
- ・孤独は、喫煙より身体に悪い
- ・お見舞いに来てくれる人の数で、余命が変わる
- ・町内会の役員は、健康にいい
- ・同僚が、あなたの寿命を左右する
- ・男性は息子の嫁に介護されると長生き
- ・一方、女性は旦那に介護されると長生き
- ・作り笑いでも、寿命は2年延びる

